

問題の発見と整理 ～「広げる」

情報 I 第5回授業

02情報社会と問題解決

教科書pp.94～95

対応データ 23exp05.xlsx

問題発見と整理について

- 1 幅広くアイデアを広げ、まとめる(広げる)
 - フレームワーク、ブレインストーミング
 - アイデアカード
- 2 原因をより深く考える(なぜなぜ)
 - ロジックツリー、連関図、特性要因図
 - IE図
- 3 解決策をより具体的にしていく(どうすれば)
 - ロジックツリー、特性要因図
 - IE図

アイデアを広げるための方法

トレーニング0 フレームワーク(p.48)

あえて枠組みなどの「切り口」を考え、その中で思考する。

例1)「封筒」の使い道を考える。(本来的でなくても良い)

- 本来的な使い方は・・・
 - 郵便用、書類を保護(汚さない)、一つにまとめ整理する、・・・
- 大きさ、形に着目すると・・・
 - 鍋敷として、定規として、縁をカッターとして、・・・
- 材質に注目すると・・・
 - ノート代わりに、小さく切ってメモに、折り紙、ティッシュ代わりに、・・・
- 複数集めて・・・
 - 枕として、掛け布団、・・・

などなど

練習0(2分)

「鉛筆」の使い道をできるだけ具体的に考えよう
(例: 字を書く)

ワークシートにできるだけたくさん記入する

アイデアを広げるための方法

トレーニング1 ブレインストーミング(p.48)

- 質より量
 - とにかく多くのアイデアを。「カッコいい内容」や「オシャレな内容」にこだわってはいけない。
- 自由気まま
 - 独特なアイデアでも歓迎する。また、あまり関係のないようなアイデアも良い。
 - 自由気ままな「思いつき」で行う。
- 便乗の奨励
 - アイデアどうしのつながりで、また新たなアイデアが出てくることも多い。
 - 他人の意見に便乗し、それを利用発展させることも歓迎する。
- 批判の禁止
 - 他人の批判は「良い」「悪い」ともに一切しない。
 - 「なにそれ〜?」「それ変!」「いいねー」など、一切禁止!!

演習1(1分)

何でもいいので、「モノ」を挙げる。

- ブレインストーミングの要領で。
- 具体的・抽象的、見える・見えない、ここにある・ない、など何でも良い
- いくつ挙げられたか、その数を覚えておく。(数のみで良い)

演習2(8分)

何でもいいので、「モノ」を挙げる。

- ブレインストーミングの要領で。
- 具体的・抽象的、見える・見えない、ここにある・ない、など何でも良い
- 記録係を一人決め、今回はワークシートに記録する。
- このあと「未来の情報機器」を考えるので、情報機器をいくつか入れておくと良い。

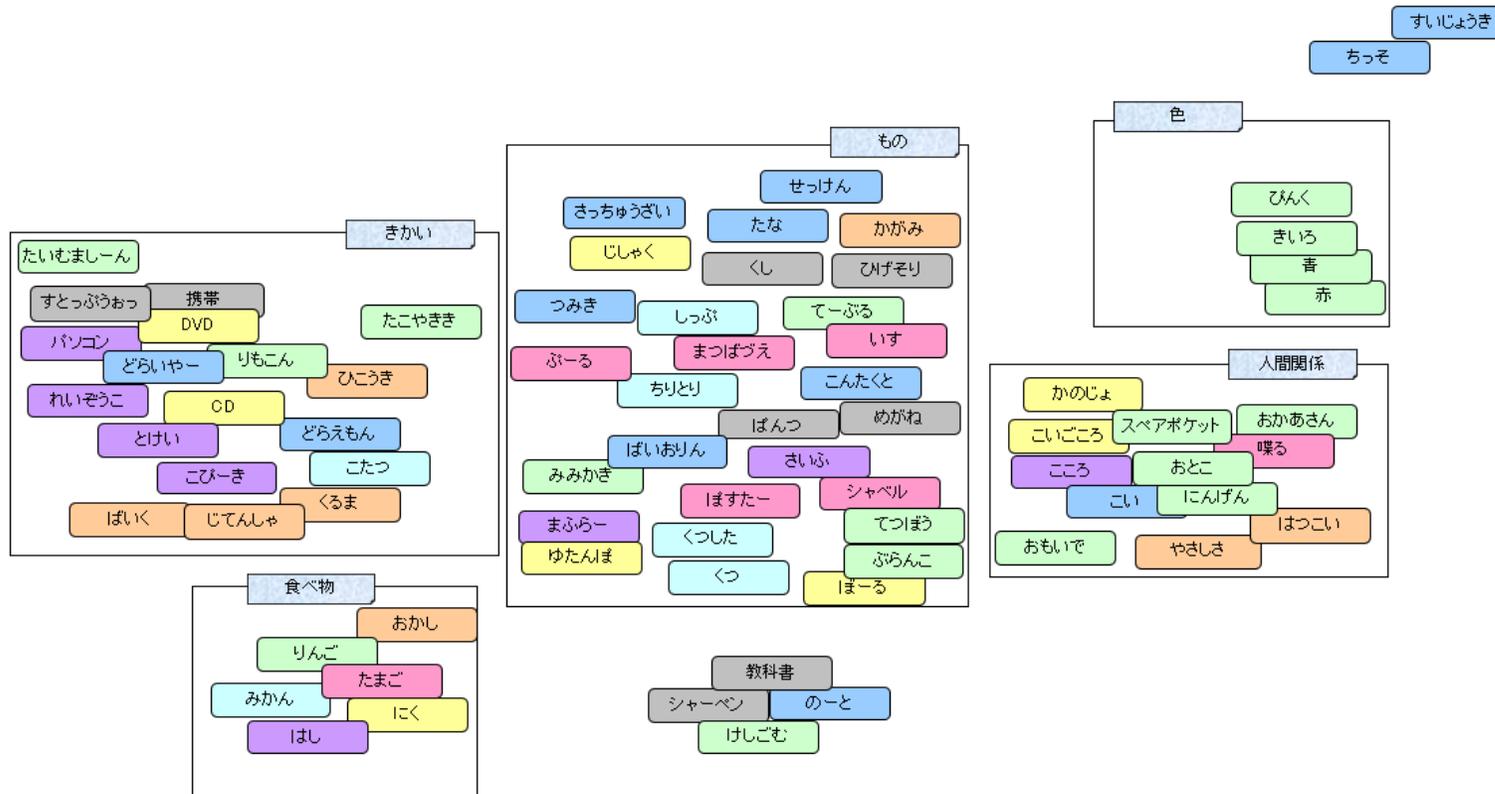
アイデアを整理する方法

「カードを用いたアイデア整理法」(p.49)

1. ブレインストーミング等で出てきた内容を、グループ分けする
2. グループごとに、簡単に名前をつける
3. 似たもののグループは近くに配置
4. それらを眺め、典型的なストーリーを創造

演習3 (5分)

- 演習2で出した「もの」を簡単にグループ分けする。
- 厳密にする必要はない。大体で良いので、速やかに。



次回は・・・

- 自分たちで「未来の情報機器」を考えてもらいます。

本日のまとめ

- 「ブレインストーミング」を大切に
 - 特に、「批判」の禁止！
 - 非現実的なものは、採用しなければ良いだけ
 - むしろ、そこから広がるアイデアを重視する
 - 批判をするくらいなら、もっと建設的なアイデアを